先端技術研究会／新潟産業人クラブ 第29回定時総会と講演会

先端技術研究会／新潟産業人クラブは９月20日、新潟市中央区の新潟グランドホテルで、第29回定時総会を開き、２０１１年度の活動と収支決算報告、12年度の収支予算・事業計画案を原案通り了承した。役員改選では、副会長に奉仕社の野島直紀社長、佐野庄製作所の佐野庄市社長、大東産業の加藤洋介社長の三人がそれぞれ就任した。　また同日、「１００年経営の会」会長で元経済産業事務次官の北畑隆生氏の記念特別講演会と、懇親パーティーも開いた。パーティーには来賓として新潟県の泉田裕彦知事らを招き、盛大なものとなった。

記念特別講演会

１００年持続する経営

「１００年経営の会」会長 元経済産業事務次官 北畑　隆生氏

長寿企業の秘訣

昨年10月に日刊工業新聞社のバックアップや経済産業省の後援により、「１００年経営の会」が発足し、私がその会長を務めている。日本の長寿企業の強さ、良さ、秘訣（ひけつ）などを学問的に整理し、世界に発信することを目的としている。

近年、08年のリーマン・ショック、11年の東日本大震災など、大事件、大災害が立て続けにあった。だが、日本で１００年存続している会社は、関東大震災や、敗戦など いくつもの大きな危機を乗り越えて生きている。

大変な頑張りにより復興することができたという。キッコーマンの茂木さんは「会社にとって一番重要なのはお客さまだ」と言われた。お客さまに喜んでもらえる醤油を作ることが会社の使命だと言う。キッコーマンは古い会社だが、ほかの醤油メーカーに比べ大成長したのは海外に出たことにある。これは海外のお客さまも大切にするということである。何をやったかというと、米国人が好きなステーキに合う醤油を開発したのだ。伝統の味を守りながらも新

30年に1回は大改革を

日本は男女ともに長寿大国と呼ばれるが、企業に関しても、世界一の長寿企業大国である。東京商工リサーチの調査によると、１００年以上存続している会社が日本には２万７８８社もあるということだった。２万社以上の会社が関東大震災、敗戦などの困難を乗り越えていまだに存続している。世界ではどれぐらいあるのかというと、ある学者の説では４万社ぐらいと言われている。そうするとその半数が日本の会社ということになる。数だけではなく、古さにの理念をずっと継続しているということ。二つ目は、事業の拡大より継続に重点を置く会社が長期存続していること。そして三つ目、これが非常に重要なのだが、伝統を守りながらも経営の革新をやっている。30年に1回は大改革をやらないと存続しない。同じことをずっとやっているだけでは駄目なのである。革新という面では、キッコーマンのように、醤油という商品を変えないのならば、その売り方や売り先を変えるということ。また、４５０年続いている岐阜県のナベヤという企業の例でいくと、鋳物の技術を基本にしながら、鍋の製造から始まり、マンホールのフタ、工作機械の精密治具、最近では航空機の部品にも挑戦している。これも革新である場合は、前述のナベヤの例がヒントになる。新分野に進出する時は自社の芯になる技術や得意な技術から枝葉を出していく。全く無関係の所に行っては失敗する確率が高い。

また、アジアに進出する際は、日本流や日本でやってきたことが通じない部分もあるので、新しい革新をやらなければならない。キッコーマンが米国に出る際、米国人の好みを一生懸命研究をし成長をとげたように。

そうは言っても、やはり海外展開には心配がある企業もあると思う。一つの秘訣がある。単独では出て行かないということだ。東京都大田区はタイに中小企業の団地を造成して、大田区の企業が集団で進出している。また日本の商社もミャンマーやインドネシアに工業団地をつくり日本の中小企業のバックアップをしている。

それから、私がおすすめするのは、台湾企業とアライアンスを組むということ。日本企業と台湾企業は非常に良い組み合わせだと思う。日本企業にはメード・イン・ジャパンというブランドがある。それから、技術、品質管理力がある。この三つは台湾企業が苦手とするところである。逆に台湾企業の良さは何かというと、資金力、決断力があるということ。それから国際性だ。台湾華僑は世界中にネットワークを持っている。また交渉力もある。中国・東南アジア諸国連合（ASEAN）に進出の際は、パートナーとして台湾企業を活用するのが中小企業にとって一つの方策だと思う。

そこで、１００年存続している企業の経営者の方に、その秘訣を話してもらおうと、会発足前の昨年８月、東京でシンポジウムを開いた。そのシンポジウムでは１００年以上存続する企業の３人のトップから話を聞いた。天坊昭彦出光興産会長（当時）、茂木友三郎キッコーマン名誉会長、佐藤広士神戸製鋼所社長の３人だ。

その中で、天坊さんは「創業以来、出光の社是は、資本は金ではなく人である。従業員が会社の資本だ」とおっしゃった。戦争で石油タンクが破壊されるなど多くの資産を失ったものの、従業員のしいお客に喜ばれる味も開発している。神戸製鋼所は、神戸という名前を社名に残し、また、本社も神戸に置いている。神戸という地域を大切にしている会社である。佐藤社長のお話では、１９９５年の阪神・淡路大震災では大きな被害を受けたが、兵庫県、神戸市など地域からの大応援を受けて復活を果たしている。

このセミナーでは、３人の方々にそれぞれ大変すばらしいお話をしていただいた。従業員、顧客、地域社会を大切にしている企業が、１００年続く企業の一つの要素ではないか、というのがセミナーの結論であった。

拡大より継続

こうした古い会社には、何か日本が誇れる特色があるのではないかと考えている。１００年経営の会では、学者や経産省の若手を交えて、この長寿企業の強さの秘密、特色というものを学問的に勉強している。まだ研究中ではあるが少し紹介したいと思う。

法政大学大学院教授の久保田章市先生によると、１００年存続する企業の特色は三つあるという。一つ目、社是や創業関しても世界一である。奈良時代以前に創業していまだに存続している会社は国内に6社ある。

ると思う。

最後に、今の日本経済が抱えている課題と処方箋について。長寿企業の良さが一つの打開策になるのではないかと考えている。日本が直面している問題は、国内の内需だけでは成長できない経済になっていることだ。簡単に言えば人口減少である。15―64歳の生産年齢人口の減少が１９９０年から始まっている。経済成長で重要なのは、供給サイドの原動力であるとともに消費の主役である生産年齢人口である。１９５５年から１９９０年まで生産年齢人口がずっと増えていくという時代で、消費、民間設備投資、公共事業の内需で成長した。だが、今は経済がだんだん縮むデフレ経済になっている。

アジアに展開

では、経済成長の中心がどこに行ったかというとアジアである。日本国内は縮んでいるが、アジアの国々が、昔の日本と同じような高度成長をしている。日本企業の成長戦略の一つは、アジアに近いという地の利を活かして、日本に本拠を置きながら海外に展開をするグローバル経営にある。

もう一つは、縮む日本経済の中でも今後需要が伸びる分野に進出すること。それを「３K」と私は呼んでいる。環境と健康と観光の分野だ。環境・エネルギーの分野は経済が縮んでも、ガソリン車から電気自動車へといったような転換需要があり、ビジネスチャンスは山のようにある。２番目の健康だが、医療産業だけでも30兆円の規模がある。しかも毎年増える。健康、介護分野なども加えると自動車産業の市場規模を上回る。３番目が観光で、外国人観光客の増加が要因だ。豊かになったアジアの国々からの旅行が増え、また、富裕層の間では日本で高度な医療を受けたいという需要もある。この三つの分野に取り組まないと国内では成長は難しいだろう。

長寿企業の知恵をどう生かせばいいのか。国内で新分野の３Kに進出するように、この雪国・新潟で頑張って開発した技術というのは本当に、宝の技術だと思います。

私は次の４年間を、未来の新潟をつくる４年間として、積極的な投資を是非やりたいと考えています。技術開発や教育などといった未来への投資です。皆さんが意気揚々と希望を持って、「今年の売り上げよりも来年の売り上げが伸びる、来年よりも再来年が伸びる」そんな環境をつくるために、県として全力を尽くして参りたいと思います。

会長あいさつ

新潟産業人クラブ 会長（ヤチダ社長） 谷地田　茂明氏

技術・ノウハウで貢献

私ども、先端技術研究会／新潟産業人クラブは、新潟県内の意欲的な経営者が集う異業種交流会である。会員は、製造業が比較的多いが、近年は、ソフトウエア関連や流通関連など、製造業以外の企業も入会しており、広がりをみせている。主な活動としては月に1回程度の頻度で、外部から講師を招き、話を聞く「社長会」を開いている。

会員各社はさほど大きな規模ではないが、各社それぞれ、その道のスペシャリストがそろっている。その会員各社の卓越した技術やノウハウを用い、今後とも、行政や研究機関などと力を合わせて、新潟県に貢献できるような活動ができればよいと考えている。

来賓祝辞

新潟県知事 泉田　裕彦氏

技術力が支えに

先端技術研究会／新潟産業人クラブのご盛会、心よりお祝い申し上げます。

現在、実力以上の円高で産業の空洞化が進むことが懸念されています。しかし、日本を支えていくのは技術力、これしかないと私は確信しています。世界を支えているのが日本の技術です。特

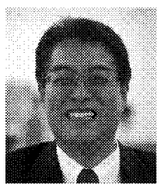
給排水・空調設備工事で47年

千代田設備は快適な生活のライフラインを守り、
社会貢献にがんばります。
千代田設備は顧客満足の為に一生懸命働きます。
千代田設備は心技体を磨き鍛錬して人作りのため、
技能五輪全国大会・技能グランプリ全国大会に
出場して、多くの優勝・入賞技術者がいます。

株式会社 千代田設備　創業1965年（昭和40年3月）　社員数233名　ISO9001 認証取得
〒950-0991新潟市中央区下所島2丁目17番3号
TEL:025-284-1141（代表）FAX:025-284-2816　千代田設備　検索
営業所 両川・長岡・三条・埼玉川越
関連会社 (株)ミスターパイプレンチ　(株)尽誠工業　(株)千代田リフォーム　(株)千代田開発　(株)千代田土木　(株)埼玉チヨダ　(株)千馬工業

YAMA LIGHT®
……LED照明のトップブランド
2012年かながわ産業Navi大賞受賞環境エコ部門
山勝電子工業株式会社
YAMAKATSU ELECTRONICS INDUSTRY CO., LTD.
本社：川崎市高津区末長541-4
URL：http://www.yamakatsu.co.jp
TEL（044）866-2411(代)
FAX（044）877-0755
長岡情報センター：TEL（0258）22-2141
新潟開発センター：TEL（025）244-1185
六日町情報センター：TEL（025）776-2131

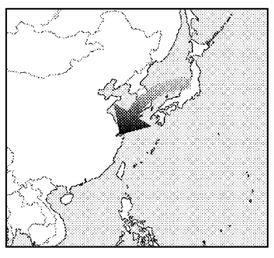
株式会社コイデエンジニアリング
代表取締役 小出　茂



本社　〒959-1112　新潟県三条市安代76
TEL:0256-45-2234　FAX:0256-45-5089
見附工場　〒954-0076　新潟県見附市新幸町9-3
TEL:0258-66-0063　FAX:0258-66-0064

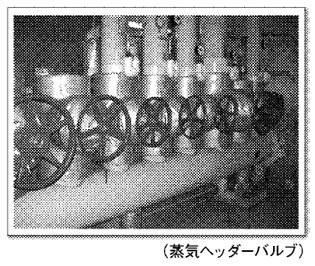
真空機器の製作、電子ビームを用いた精密加工、
高速同時５軸加工機を用いた精密加工
株式会社ヤチダ
代表取締役 谷地田茂明
〒959-1303 新潟県加茂市後須田 701 番地
TEL：0256-52-1395　FAX：0256-52-6064
URL http://www.yacida.co.jp/

2012年 中国（上海）現地法人設立



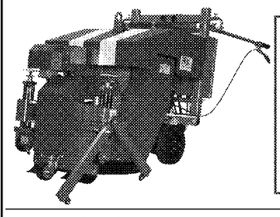
新潟から世界へ
創業47年を迎えた当社は中国・上海に現地法人を設立し、現地での生産体制を整え、新たなステージに飛躍します。
【取扱製品】
真空炉、超高温高圧炉、新素材熱処理炉
AE アドバンエンジ株式会社
http://www.adv-eng.co.jp　〒950-3102 新潟市北区島見町 3399-34
TEL:025-255-3300　FAX:025-255-2800

本気で省エネ！
ズバリ！モノが違います！！
○高機能保温・断熱カバー
○カバーラップ-H
○カバーラップ-C

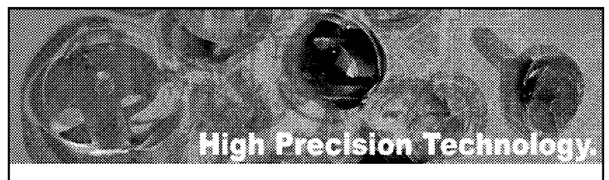


（蒸気ヘッダーバルブ）
カバーラップ-H 販売元
(株)シー・エス・シー
〒950-0801 新潟県新潟市東区津島屋7丁目155番地2
TEL 025-270-3664　FAX 025-270-3665
e-mail：info@csc-coverwrap.co.jp
（営業所）名古屋、福島
カバーラップ-H 製造元
(株)シー・エス・クリエイト
〒950-0801 新潟県新潟市東区津島屋7丁目155番地2
TEL 025-384-8874　FAX 025-384-8879
e-mail：info@create-coverwrap.co.jp
まずはホームページへ！→ http://www.csc-coverwrap.co.jp

小型薄層切削機　フラット１（ワン）
道路、橋梁、鉄道、建築。さまざまなシーンで活躍。



● 超小型・軽量。“打撃”ではなく、“切る”の新発想
● 1㎜単位の薄層切削が可能（コンクリート・アスファルト舗装等）
● 200Vの電動型で乾式切削
● 室内施工も可能
HRK ヒートロック工業株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋2-13-10 京橋MIDビル　TEL:03-3561-1681
（営業所）大阪／名古屋／九州／札幌／仙台／北陸／新潟／工場研究所



高度な精密加工技術と一貫生産システムで
お客様のニーズにお応えします。
工業用ミシン部品・医療機器・各種産業機械部品
株式会社 佐文工業所
http://www.sabun.co.jp/

ご協賛いただいた会員各社
厚く御礼申し上げます。
＜順不同＞

先端技術研究会／新潟産業人クラブ
新入会員募集！
新潟市中央区白山浦 1-614 日刊工業新聞社新潟支局内
TEL：025-233-3883　FAX：025-233-6127
URL http://www.sentan.gr.jp

PRC PRECISION MOLD
液状シリコーン成形用金型
ゴム成型用金型の製造・販売
株式会社 ピーアールシー
代表取締役　伊藤　誠
〒950-3304 新潟県新潟市北区木崎 778-43
TEL：(025)386-1105
FAX：(025)386-1108
URL http://ncokyoudoukumiai.jp/prc/

THK The Mark of Linear Motion
地震対策にTHK免震システム
各種ボールスプライン
THK新潟株式会社
阿賀野市保田字中山5836
TEL(0250)68-3482
FAX(0250)68-3486